

茎は直立し、強靱な葉を、密に2列つけ、香りのある白色の大きな花を1~5個つけます。花は15cm前後の大きさで、光沢があり全体に星形をしています（唐澤、1997）。一番の特徴は、非常に長い30cmほどの距を持



2017.1.31に中央植物園で開花したアングレカム・セスキペダレ

そのランの距に興味を示したのが、イギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィン（1809-1882）です。ダーウィンは1862年に出版したランの受粉に関する著書で、アングレカム・セスキペダレの受粉時には「10~11インチ（約30センチ）の長い口吻をもつ蛾（送粉者）がいなければならない！」と仮説を立てました。